

新たな世界遺産 「記憶の場」と 第32軍司令部壕



プログラム

○フィールドワーク

14:00 第1坑口見学

當眞 嗣一

○講座

14:45 趣旨説明:琉球弧世界遺産学会

花井 正光

14:50 講演①「戦跡考古学から見た32軍壕」

當眞 嗣一

15:30 講演②「第32軍-首里城地下司令部壕の罪と罰」

保坂 廣志

16:10 講演③「平和教育から見た首里と32軍壕」

狩俣 日姫

16:40 フロアとの意見交換

17:00 閉会

講師

當眞 嗣一

琉球大学法文学部史学科卒業。沖縄県教育庁文化課課長、沖縄県立博物館館長、沖縄考古学会会長を経て、現在グスク研究所主宰／琉球弧世界遺産学会理事。グスク(沖縄地方の城)研究の第一人者。

保坂 廣志

琉球大学法文学部元教授。沖縄戦を中心とした執筆、翻訳を行う。『首里城と沖縄戦 最後の日本軍地下司令部』(集英社新書)、『戦争動員とジャーナリズム 軍神の誕生』(ひるぎ社)など多数。

株式会社さびら 平和教育ファシリテーター 狩俣 日姫

修学旅行生向けの学習コンテンツを提供する教育ベンチャーを経て、2022年6月に「さびら」を共同創業し、平和教育ファシリテーターとして活動。Forbes Japan2022「世界を変える30歳未満」の30人に選出。

2023年の世界遺産委員会で創設が決議された「記憶の場(Sites of memory)」についての概要を紹介し、第32軍司令部壕の歴史・文化遺産としての価値を考える機会にした。

世界遺産首里城跡の地下には、グスクの他に語り継がれるべきもう一つの遺跡があります。沖縄戦における日本軍の第32軍司令部壕です。

戦後80年の今、本公開講座では考古学と歴史学の観点から、この壕がなぜこの場所に作られ何が行われていたのか、平和教育の立場からここで学ぶ意義をお話いただき、「記憶の場」としての保存と活用について考えます。

3.29 (土)

14:00 - 17:00

参加費
無料

資料代 100円

園比屋武御嶽前(集合 13:50) ※雨天決行

場所 フィールドワーク:第32軍司令壕第1坑口

講座:沖縄県立芸術大学当蔵キャンパス

一般教育棟3階大講義室

定員 80人(事前申込不要、先着順)

駐車場 会場には駐車場がありません。

公共交通機関等をご利用ください。

問合せ 電話:090-8454-5930 花井/090-3329-5896 奥住

メール:ryusefo@gmail.com